報 告

国民医療を守る全国大会
―国民のための医療の実現など6項目を決議―

常任理事　直江　寿一郎

国民医療を守る全国大会が去る5月18日(金)、午後2時30分から4時まで東京・九段会館ホールで開催され、全国から約1,300名、当会から長瀬会長と小職が出席した。また44名の国会議員の出席があった。主催は別掲の40団体から構成される国民医療推進協議会、協力は東京都医師会である。

この大会は「骨太の方針2007」の策定・公表に先手を打ち、国民医療が今いかに危殆に瀕しているかを政府ほか関係方面にアピールすることを目的に開催されたものである。

開催計画は4月1日の日医代議員会において中川俊男常任理事により明らかにされ、都道府県医師会長には4月6日付けで全国各地での国民運動展開の要請があった。

当会ではこれを受け、前号で既報のように『そこまで来ている医療崩壊を何としても防ごう』をテーマに緊急道民集会を5月16日に開催したところである。

◇

全国大会は、萩原正日本柔道整復師会会長の宣言により開会。次いで国民医療推進協議会会長の唐澤祥人日医会長から「財政優先の医療費抑制策を続けてきた結果、地域医療は危機的な状況となった。日本を健康度世界一の国とした国民皆保険制度を維持するため、誤った政策を正す大会としたい」。鈴木聰男東京都医師会会長からは「国民の医療への不安を受け止め、これを大きな声として国、国会議員に伝えることがわれわれの使命である」。次に来賓として、鈴木俊一自民党社会保障制度調査会会長から「社会保障制度改革が

進められている、健康・生命にかかわることは財政だけで考えるものではない。国民本位の医療の実現に努力したい」とそれぞれ挨拶があった。

なお、44名の議員は国会開会中の合間を縫っての出席であり大会プログラムの間、随時紹介が行われたほか、有力議員8名から激励の祝辞があった。武見敬三参議院議員は終始壇上前席におられた。

竹嶋康弘日医副会長からの趣旨説明に続き、大久保満男日本歯科医師会会長、中西敏夫日本薬剤師会会長、木下毅日本療養病床協会会長、村山友宏日本ウオーキング協会副会長の4氏から意見表明が行われた後、国民医療推進協議会理事・羽生田俊日医常任理事から6項目の決議案の提案があり満場一致で採択された。

最後に川合英治全国老人保健施設協会会長の音頭で“頑張ろうコール”を参加者全員が行い、大会は盛会裡に終了した。

決　議

現在、国民不在の医療制度改革が断行されようとしている。私たちは国民とともに、国民の生命と健康を確保し、国民が「格差」に苦しむことなく、安心して暮らせる社会作りを目指す。

よって、本大会参加者全員の総意として、次のとおり決議する。

一．国民のための医療の実現
一．高齢者のための入院施設の削減反対
一．医師・看護師不足の解消
一．医療における格差の是正
一．患者の負担増反対
一．国民の生命と健康を守るための医療費財源の確保

平成19年5月18日

国民医療を守る全国大会

国民医療推進協議会　参加団体

健康・体力づくり事業財団	日本学校保健会
全国公私病院連盟	日本看護協会
全国自治体病院協議会	日本作業療法士協会
全国腎臓病協議会	日本歯科医師会
全国病院理学療法協会	日本歯科衛生士会
全国訪問看護事業協会	日本視能訓練士協会
全国有床診療所連絡協議会	日本柔道整復師会
全国老人保健施設協会	日本鍼灸師会
全日本鍼灸マッサージ師会	日本精神科病院協会
全日本病院協会	日本精神保健福祉士協会
日本医業経営コンサルタント協会	日本病院会
日本医師会	日本病院薬剤師会
日本医療教育財団	日本放射線技師会
日本医療事務振興協会	日本訪問看護振興財団
日本医療社会事業協会	日本薬剤師会
日本医療法人協会	日本理学療法士協会
日本医療保険事務協会	日本療養病床協会
日本ウォーキング協会	日本臨床衛生検査技師会
日本栄養士会	日本臨床工学技士会
日本介護福祉士会	認知症の人と家族の会

(50音順／40団体)